

令和7年度 公表基準に基づく医療事故等の包括公表

1 レベル別集計 ※1

レベル分類	患者影響度	医療センター	八幡病院
		報告件数（件）	
0	行為には至らなかった	621	254
1	一般的な検査を要したが影響がなかった	1,075	1,032
2	精密検査を要したが影響がなかった	114	100
3の1	軽微な処置・治療を要したが治癒	106	110
3の2	濃厚な処置・治療を要したが治癒	31	29
4の1	寛解・軽度の障害が残った	4	0
4の2	重大な傷害が残った	1	0
5	死亡	3 ※2※3	0
合 計		1,955	1,525

※1 過失の有無にかかわらず、全事例報告することとしています。

※2 うち2件は原病の進行や術後合併症などによるもので、処置時の対応に問題はなく無過失です。

※3 うち1件は処置時の対応に問題はなく無過失と考えておりますが、医療事故調査等支援団体に入っていただき、医療法に基づく医療事故調査を実施中です。

2 分類別集計

種 別	医療センター		八幡病院	
	報告件数(件)	事故割合(%)	報告件数(件)	事故割合(%)
与薬	442	22.6	395	25.9
転倒・転落	433	22.1	258	16.9
チューブ・ライン類	287	14.7	358	23.5
調剤・製剤管理	48	2.5	122	8.0
検査	62	3.2	104	6.8
食事	41	2.1	44	2.9
処置・処方	87	4.5	95	6.2
採血	35	1.8	62	4.1
手術	67	3.4	38	2.5
その他	453	23.2	49	3.2
合 計	1,955	100.0	1,525	100.0

3 医療安全向上のための主な業務改善

種 別	項 目	病院内で工夫された改善例
与薬	誤投薬防止対策	・二人同時双方型ダブルチェックが必要な薬剤の選定、ポスター掲示による職員への周知
転倒・転落	転倒転落対応	・外来版の初期対応フロー及び転倒転落対応シートの作成 ・多職種チームによるラウンドの実施 ・浴室の安全な使用方法のシミュレーションの実施 ・検査室の介護用椅子の導入、着脱しやすい検査着への変更
調剤・製剤管理	院内加工製剤の適正使用	・使用実態や稼働状況を踏まえた院内加工製剤の整理及び運用の見直し
調剤・製剤管理	救急薬剤の安全使用	・救急薬剤の取り違い防止を目的とした、電子カルテ及び処方箋へのアラート表示の導入
検査	事故防止	・造影剤によるアレルギー発症事例を受けた、造影剤一覧表（造影剤名・主成分名）の作成、研修会の開催
手術	手術関連死亡事例の対応	・手術関連の死亡事例に対する事故調査制度についての全職員への周知
その他	自殺・自殺企図対応体制の整備	・自殺・自殺企図発生時の対応手順の見直し ・「自殺・自殺企図患者への対応マニュアル」の作成
その他	医療安全の啓発	・医療安全に関するマニュアル、ガイドライン等を掲示した「医療安全ポータル」の新設（電子カルテトップ画面）
その他	コミュニケーションエラー防止	・チームでの円滑なコミュニケーションに向けた研修会の実施（全職員対象）